

7 社会貢献活動について

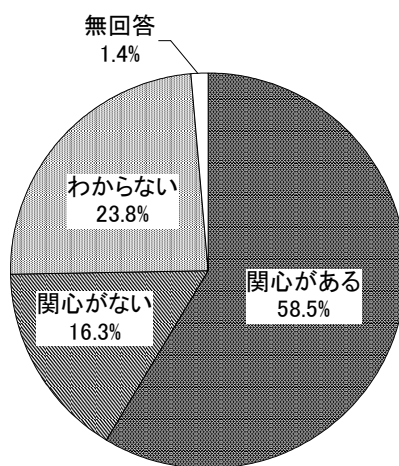
(1) 社会貢献活動に対する関心

問19 あなたは、社会貢献活動(※)に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

※ 「社会貢献活動」とは、例えば、募金、寄附、プルタブ、エコキャップなどの物品収集や公園清掃などの活動、ボランティアやNPO（特定非営利活動団体）活動、コミュニティ活動、自治会、育成会等の地域活動などをいいます。

[n=1,318]

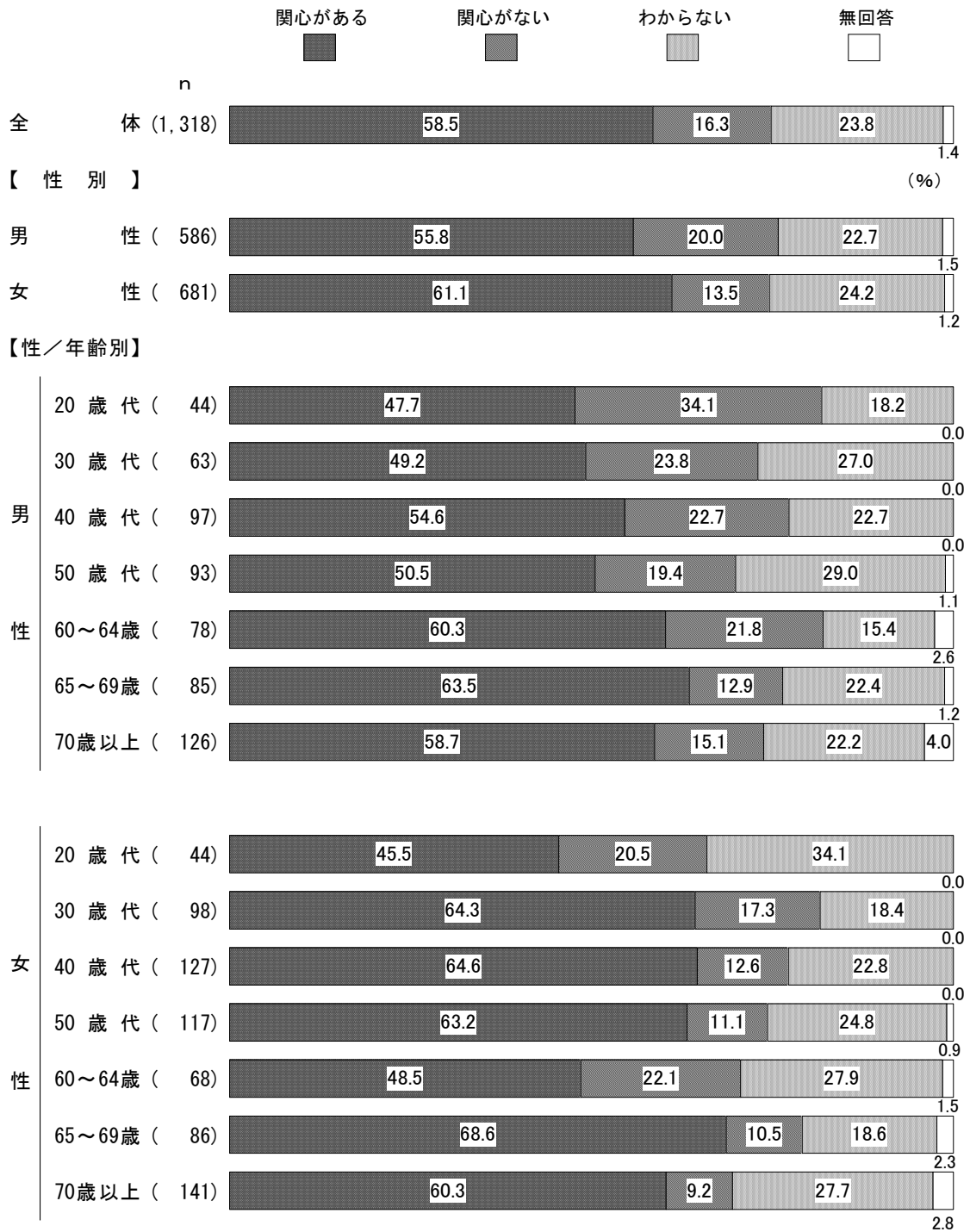
1 関心がある	58.5%	3 わからない	23.8
2 関心がない	16.3	(無回答)	1.4



(n=1,318)

全体でみると、「関心がある」(58.5%)が6割近くとなっている。「関心がない」(16.3%)は1割半ばで、「わからない」(23.8%)は2割を超えている。

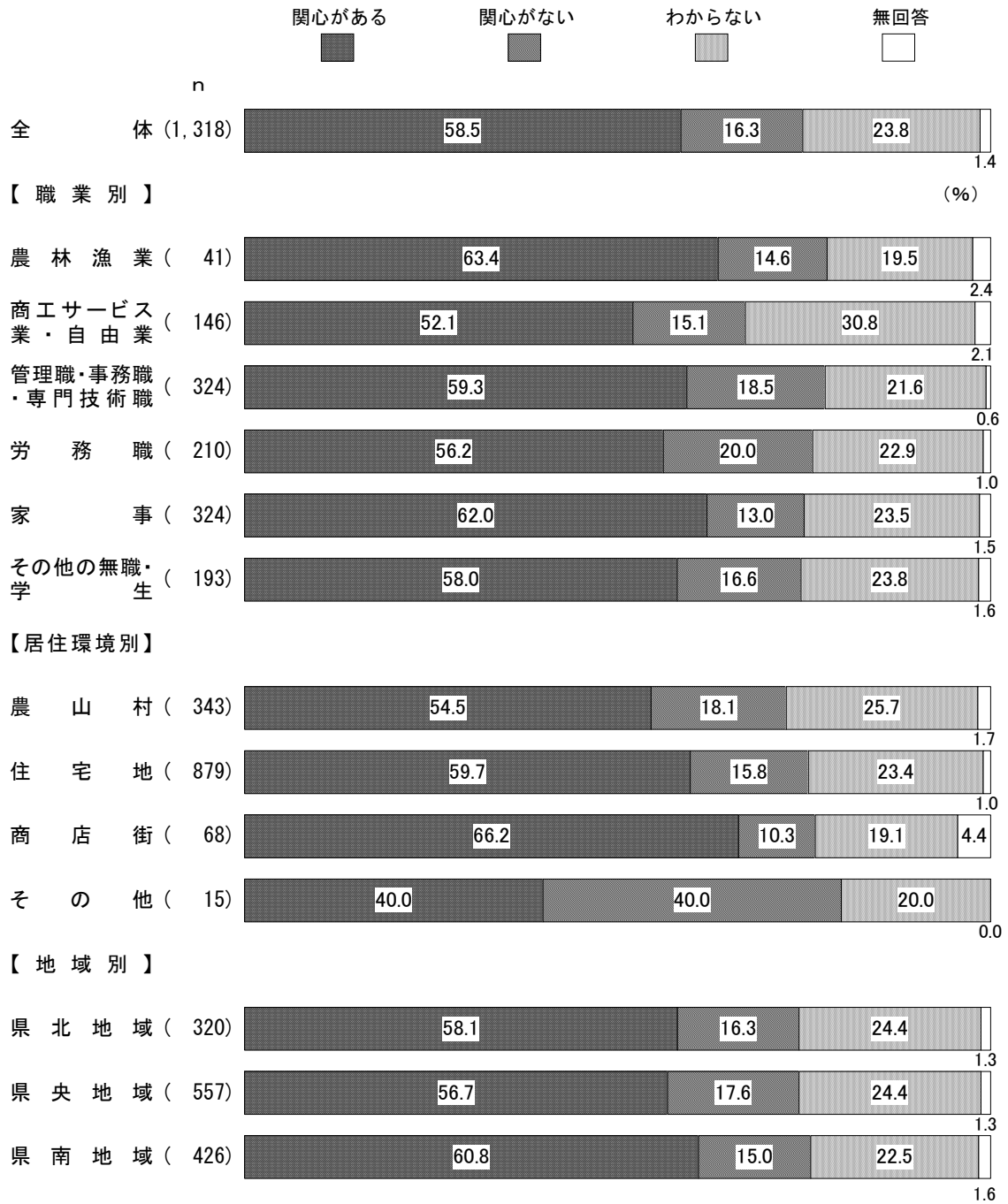
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「関心がある」では〈女性〉(61.1%)が〈男性〉(55.8%)より5.3ポイント高くなっている。「関心がない」では〈男性〉(20.0%)が〈女性〉(13.5%)より6.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「関心がある」では〈女性65~69歳〉が68.6%と高くなっている。「関心がない」では〈男性20歳代〉が34.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「関心がある」では〈農林漁業〉が63.4%、〈家事〉が62.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、「関心がある」では〈商店街〉が66.2%と高くなっている。

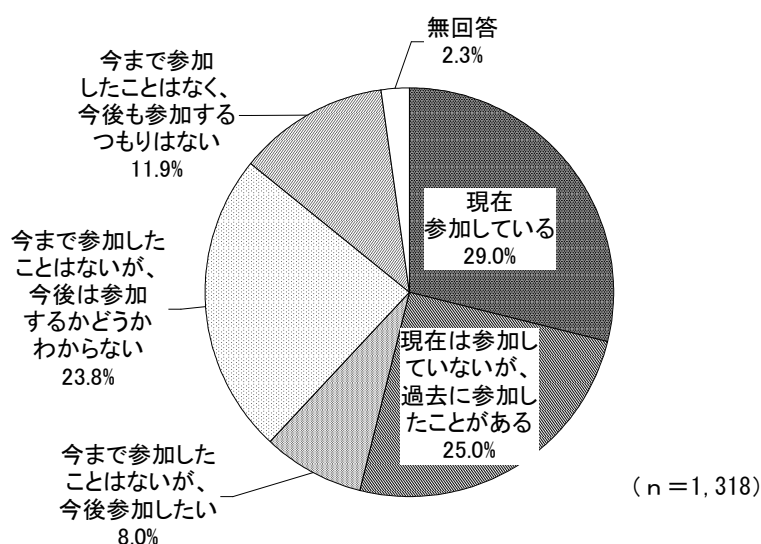
地域別でみると、「関心がある」では〈県南地域〉が60.8%と高くなっている。

(2) 社会貢献活動の参加状況

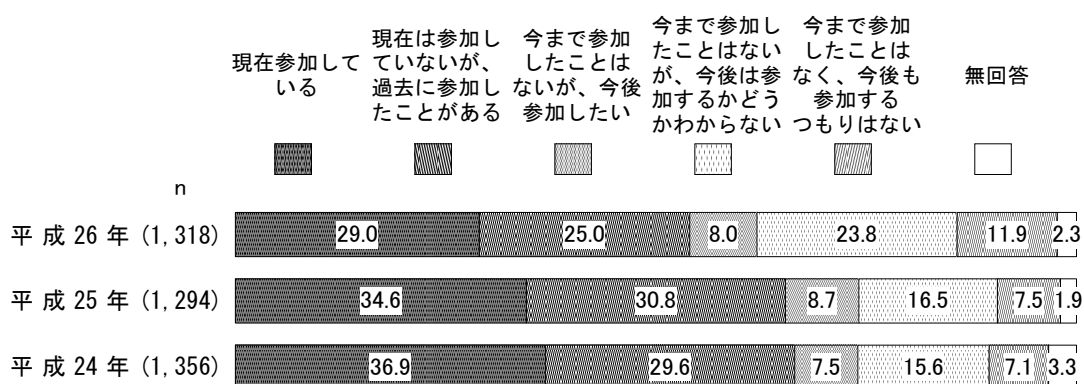
問20 あなたは、社会貢献活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,318]

1	現在参加している	29.0%
2	現在は参加していないが、過去に参加したことがある	25.0
3	今まで参加したことはないが、今後参加したい	8.0
4	今まで参加したことはないが、後は参加するかどうか分からない	23.8
5	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	11.9
	(無回答)	2.3

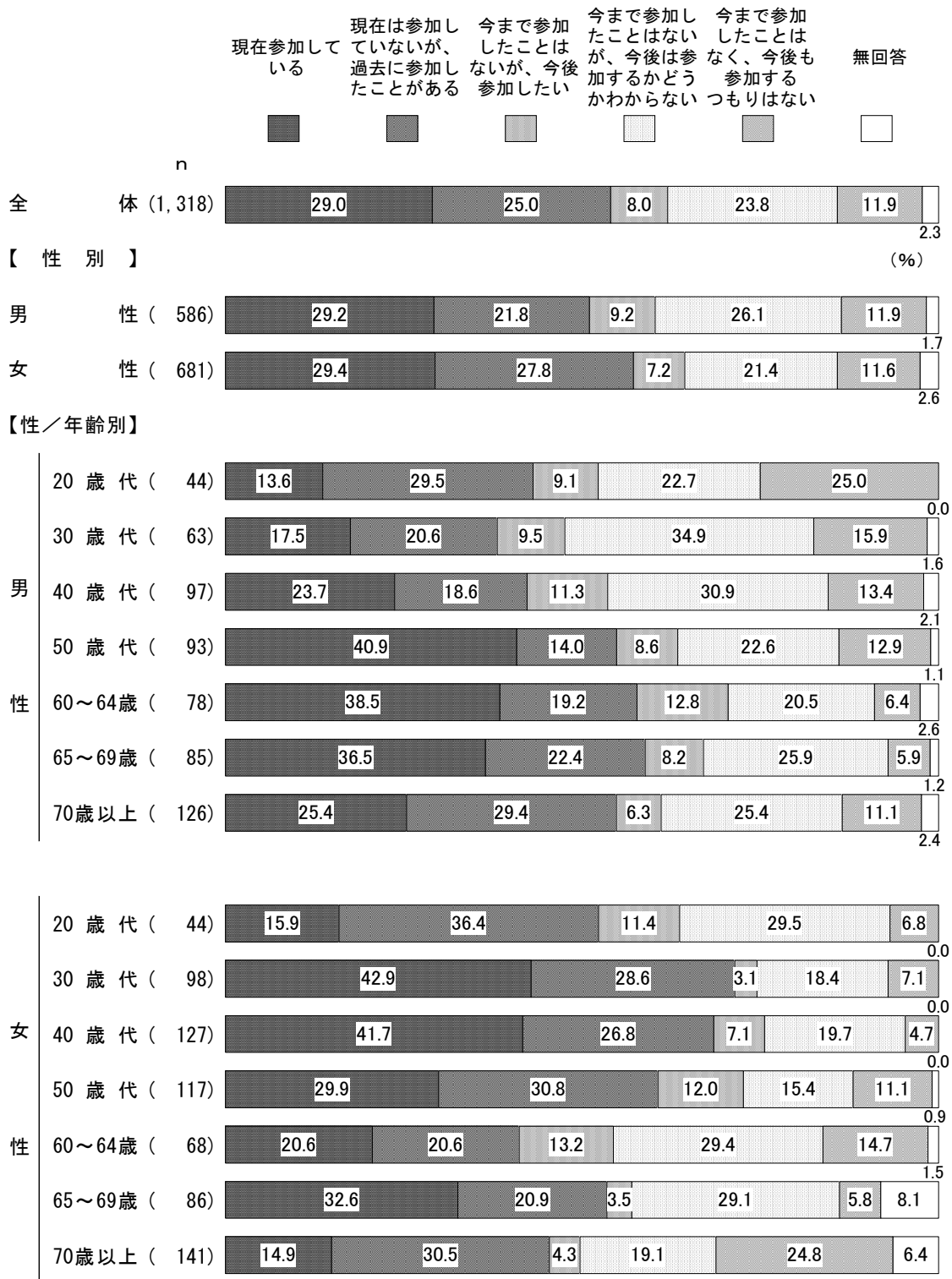


全体でみると、「現在参加している」(29.0%)がほぼ3割となっている。「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」(25.0%)は2割半ばで、「今まで参加したことはないが、後は参加するかどうか分からない」(23.8%)は2割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、「現在参加している」が前回(平成25年)より5.6ポイント、「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」が前回(平成25年)より5.8ポイント減少している。「今まで参加したことはないが、後は参加するかどうか分からない」は前回(平成25年)より7.3ポイント増加している。

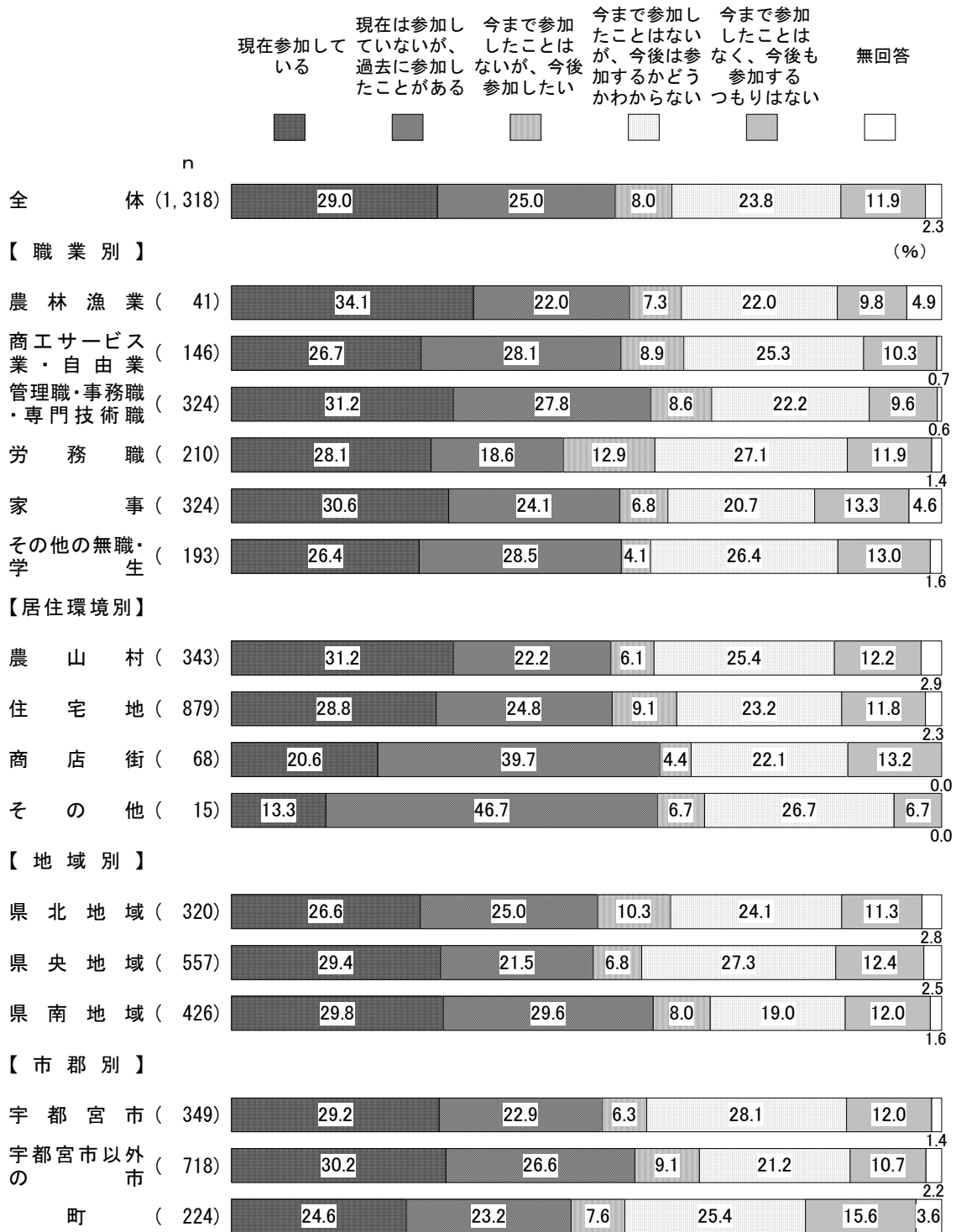
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」では〈女性〉(27.8%)が〈男性〉(21.8%)より6.0ポイント高くなっている。「今まで参加したことはないが、今後は参加するかどうか分からない」では〈男性〉(26.1%)が〈女性〉(21.4%)より4.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「現在参加している」では〈女性30歳代〉が42.9%、〈女性40歳代〉が41.7%、〈男性50歳代〉が40.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「現在参加している」では〈農林漁業〉が34.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「現在参加している」では〈農山村〉が31.2%と高くなっている。

地域別でみると、「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」では〈県南地域〉が29.6%と高くなっている。

市郡別でみると、「現在参加している」では〈宇都宮市以外の市〉が30.2%、〈宇都宮市〉が29.2%となっており、〈町〉(24.6%)に比べて高くなっている。

(2-1) 社会貢献活動に参加しない理由

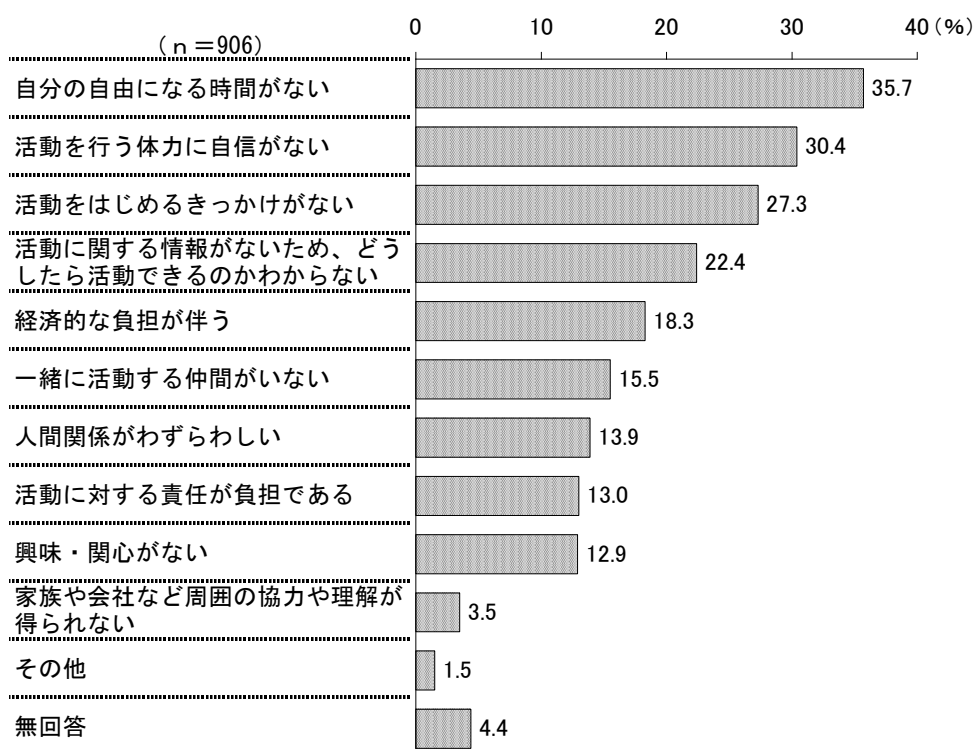
(問20で選択肢「現在参加している」以外を選んだ方のみお答えください)

問20-1 あなたが社会貢献活動に参加しない理由は何ですか。

次の中から主な理由を3つまで選んでください。

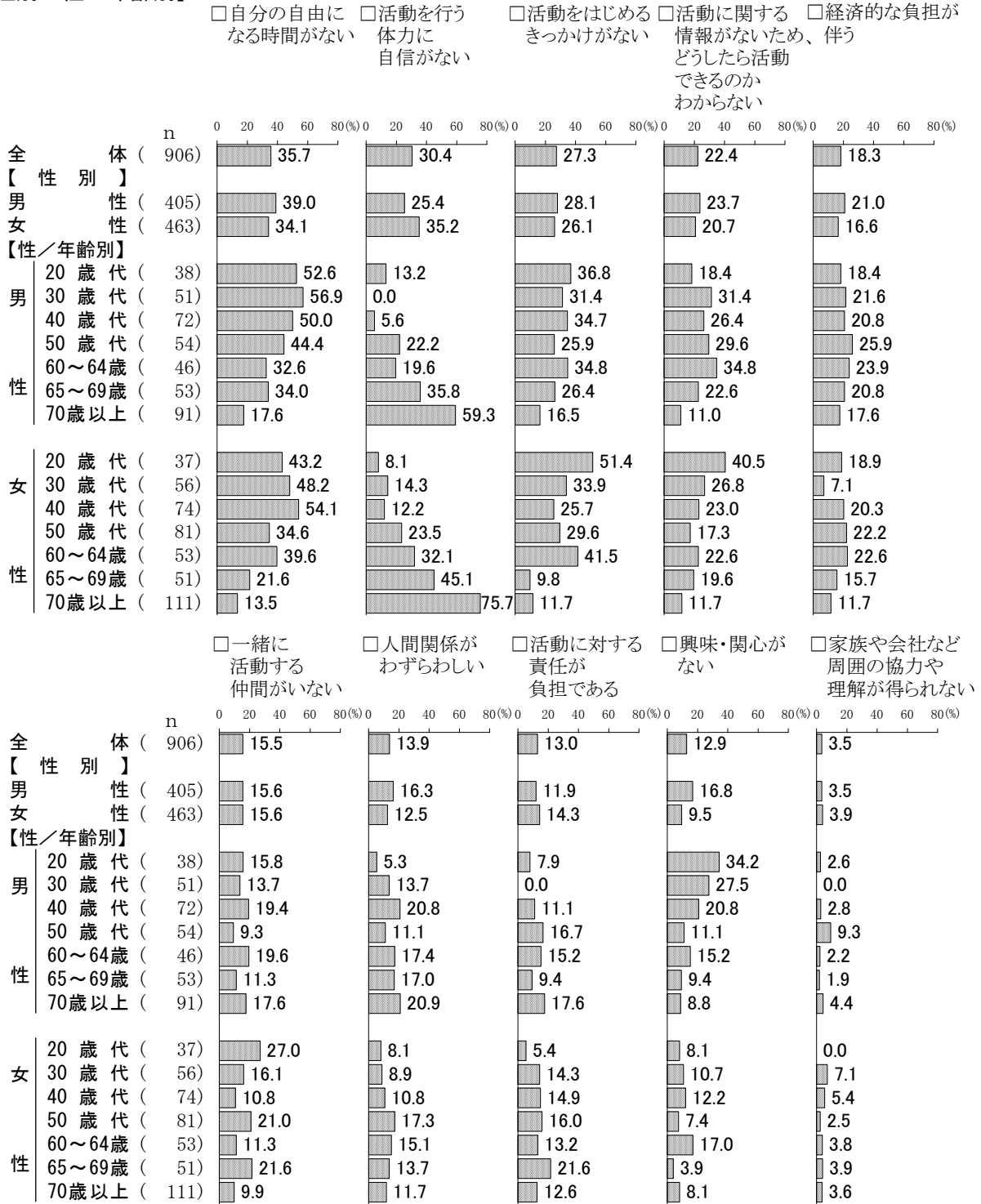
[n=906]

1	自分の自由になる時間がない	35.7%
2	経済的な負担が伴う	18.3
3	活動を行う体力に自信がない	30.4
4	一緒に活動する仲間がいない	15.5
5	家族や会社など周囲の協力や理解が得られない	3.5
6	人間関係がわずらわしい	13.9
7	活動に関する情報がないため、どうしたら活動できるのかわからない	22.4
8	活動をはじめるきっかけがない	27.3
9	活動に対する責任が負担である	13.0
10	興味・関心がない	12.9
11	その他	1.5
	(無回答)	4.4



全体で見ると、「自分の自由になる時間がない」(35.7%)が3割半ばで最も高く、次いで「活動を行う体力に自信がない」(30.4%)、「活動をはじめるきっかけがない」(27.3%)、「活動に関する情報がないため、どうしたら活動できるのかわからない」(22.4%)の順となっている。

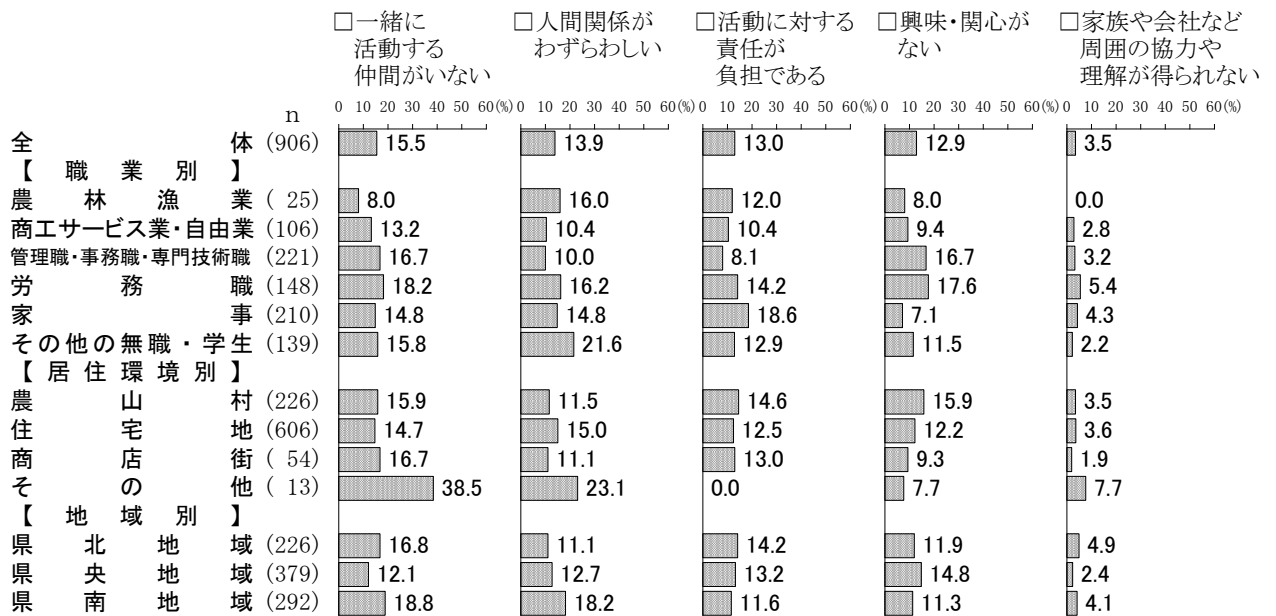
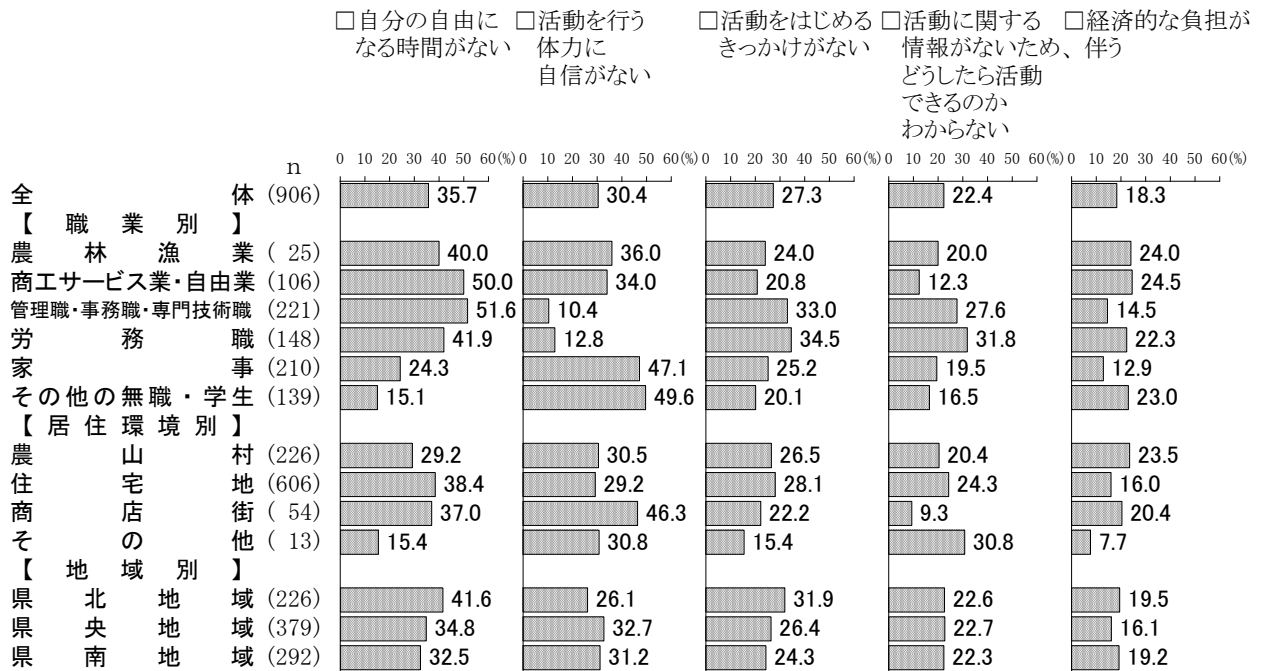
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「活動を行う体力に自信がない」では〈女性〉(35.2%)が〈男性〉(25.4%)より9.8ポイント高くなっている。「興味・関心がない」では〈男性〉(16.8%)が〈女性〉(9.5%)より7.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「自分の自由になる時間がない」では〈男性30歳代〉が56.9%と高くなっている。「活動を行う体力に自信がない」では〈女性70歳以上〉が75.7%と高くなっている。「活動をはじめるきっかけがない」では〈女性20歳代〉が51.4%と高く、「活動に関する情報がないため、どうしたら活動できるのかわからない」でも〈女性20歳代〉が40.5%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「自分の自由になる時間がない」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が51.6%、〈商工サービス業・自由業〉が50.0%と高くなっている。「活動を行う体力に自信がない」では〈その他の無職・学生〉が49.6%、〈家事〉が47.1%と高くなっている。「活動に関する情報がないため、どうしたら活動できるのかわからない」では〈労務職〉が31.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「活動を行う体力に自信がない」では〈商店街〉が46.3%と高くなっている。

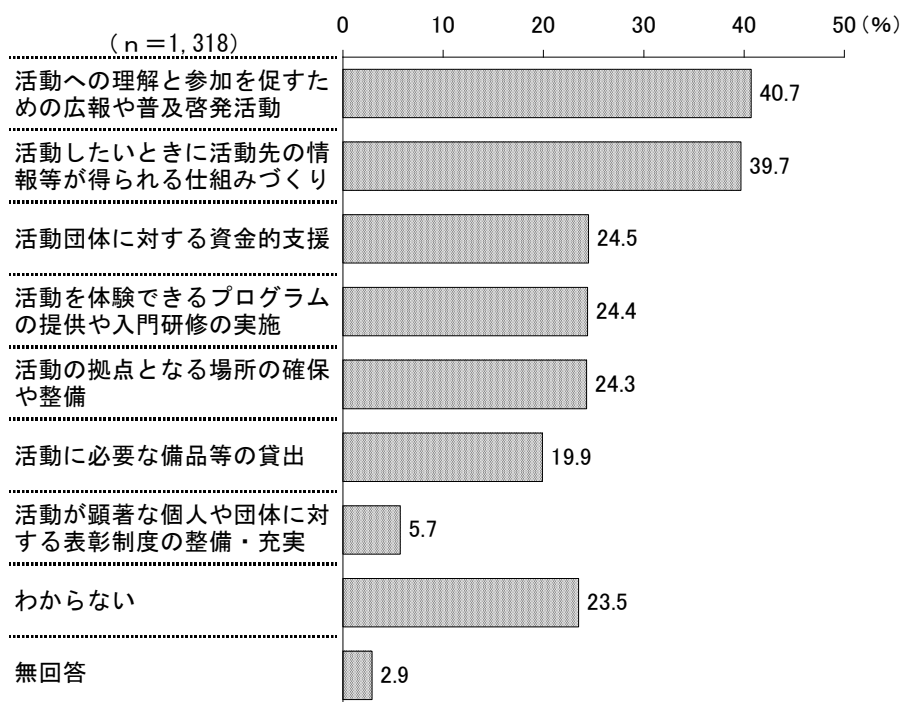
地域別でみると、「自分の自由になる時間がない」では〈県北地域〉が41.6%と高く、「活動をはじめるきっかけがない」でも〈県北地域〉が31.9%と高くなっている。「一緒に活動する仲間がいない」では〈県南地域〉が18.8%と高く、「人間関係がわずらわしい」でも〈県南地域〉が18.2%と高くなっている。

(3) 社会貢献活動を支援するための行政の取組

問21 あなたは、ボランティアやNPO等による社会貢献活動を支援するため、行政は今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

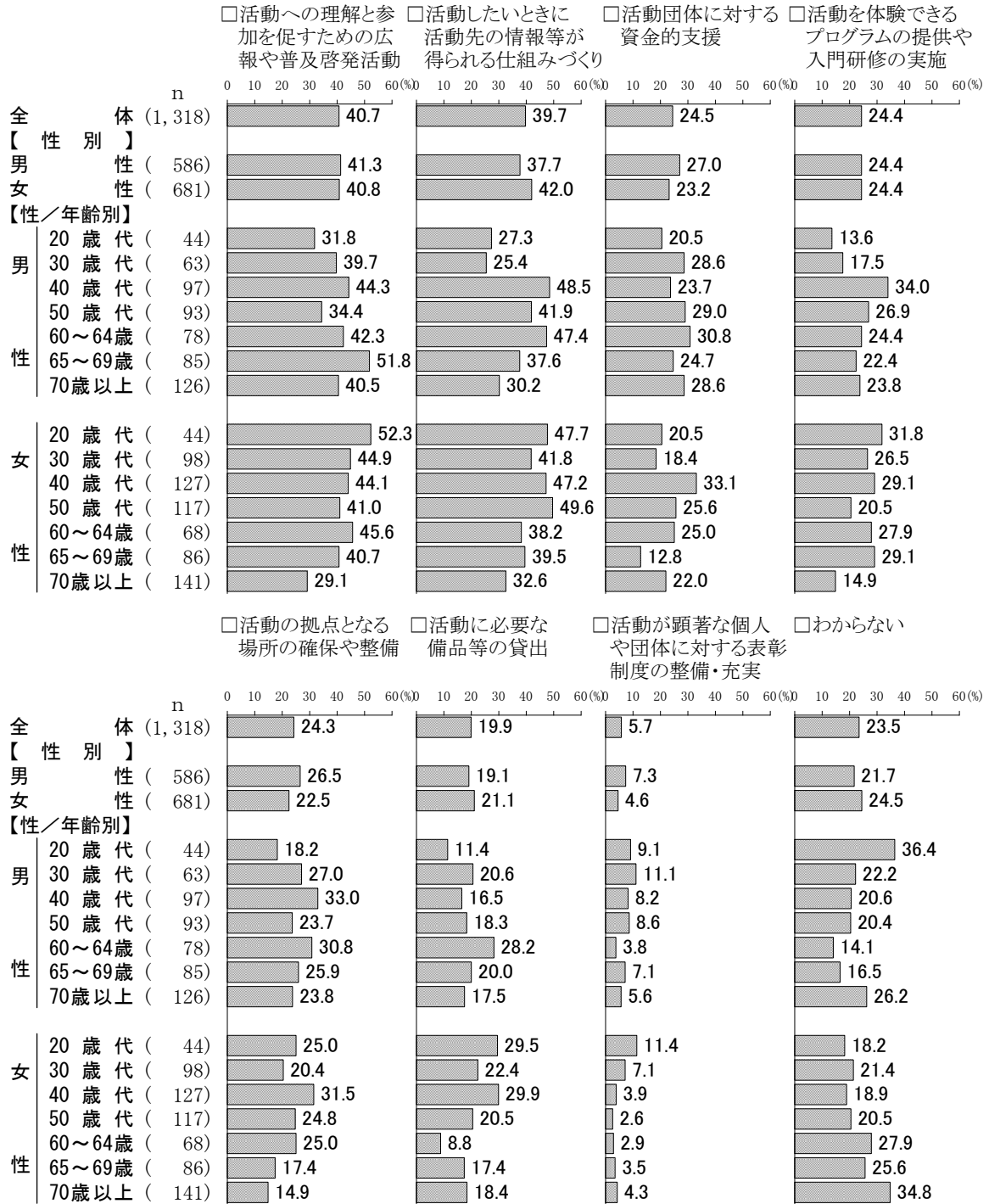
[n=1,318]

1	活動への理解と参加を促すための広報や普及啓発活動	40.7%
2	活動したいときに活動先の情報等が得られる仕組みづくり	39.7
3	活動を体験できるプログラムの提供や入門研修の実施	24.4
4	活動団体に対する資金的支援	24.5
5	活動に必要な備品等の貸出	19.9
6	活動の拠点となる場所の確保や整備	24.3
7	活動が顕著な個人や団体に対する表彰制度の整備・充実	5.7
8	わからない	23.5
	(無回答)	2.9



全体で見ると、「活動への理解と参加を促すための広報や普及啓発活動」(40.7%)がほぼ4割で最も高く、次いで「活動したいときに活動先の情報等が得られる仕組みづくり」(39.7%)、「活動団体に対する資金的支援」(24.5%)、「活動を体験できるプログラムの提供や入門研修の実施」(24.4%)、「活動の拠点となる場所の確保や整備」(24.3%)の順となっている。

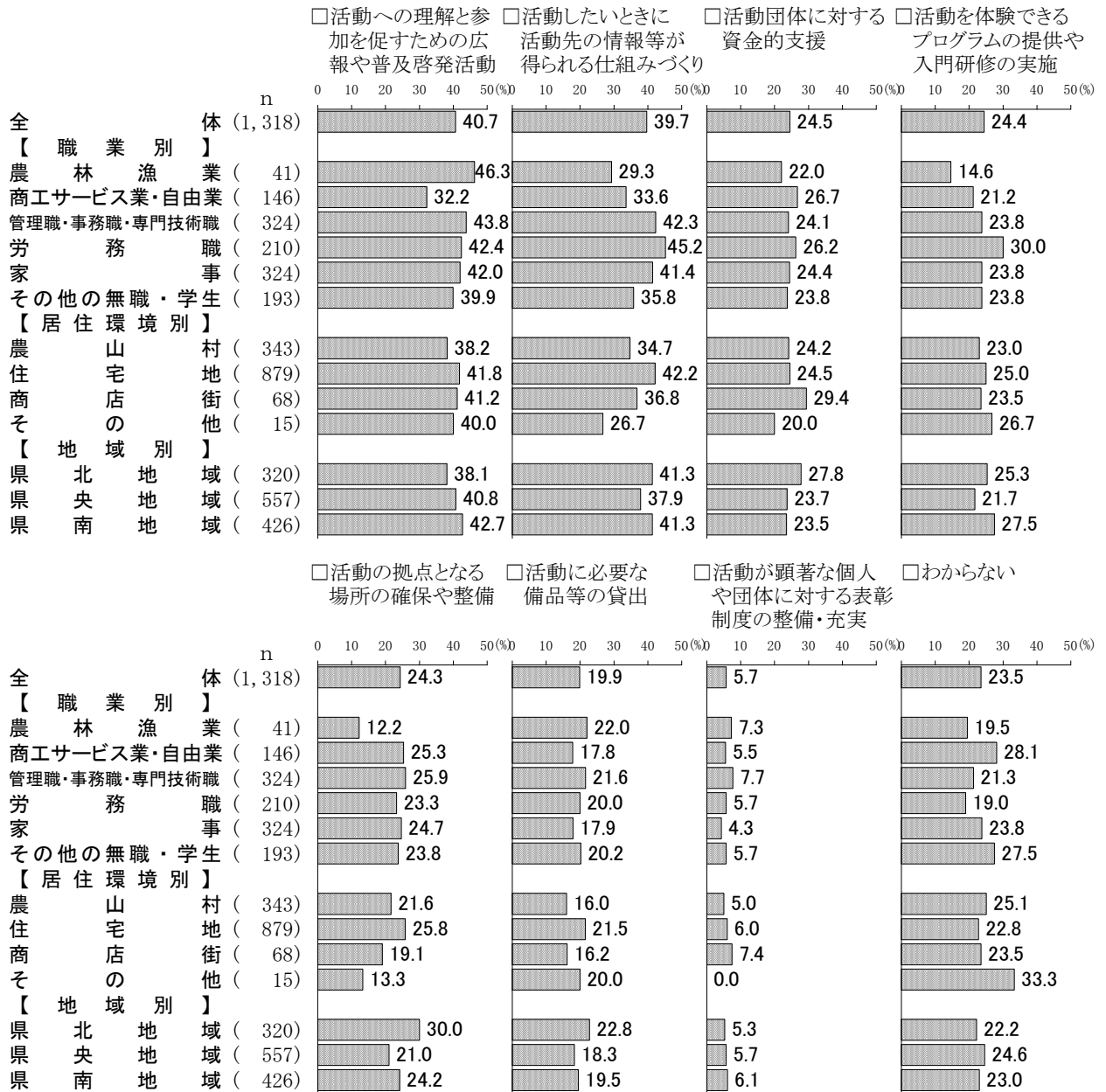
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「活動したいときに活動先の情報等が得られる仕組みづくり」では〈女性〉(42.0%)が〈男性〉(37.7%)より4.3ポイント高くなっている。「活動の拠点となる場所の確保や整備」では〈男性〉(26.5%)が〈女性〉(22.5%)より4.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「活動への理解と参加を促すための広報や普及啓発活動」では〈女性20歳代〉が52.3%、〈男性65~69歳〉が51.8%と高くなっている。「活動したいときに活動先の情報等が得られる仕組みづくり」では〈女性50歳代〉が49.6%と高くなっている。「活動団体に対する資金的支援」では〈女性40歳代〉が33.1%と高くなっている。「活動を体験できるプログラムの提供や入門研修の実施」では〈男性40歳代〉が34.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「活動への理解と参加を促すための広報や普及啓発活動」では〈農林漁業〉が46.3%と高くなっている。「活動したいときに活動先の情報等が得られる仕組みづくり」では〈労務職〉が45.2%と高く、「活動を体験できるプログラムの提供や入門研修の実施」でも〈労務職〉が30.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、「活動したいときに活動先の情報等が得られる仕組みづくり」では〈住宅地〉が42.2%と高く、「活動の拠点となる場所の確保や整備」でも〈住宅地〉が25.8%と高くなっている。

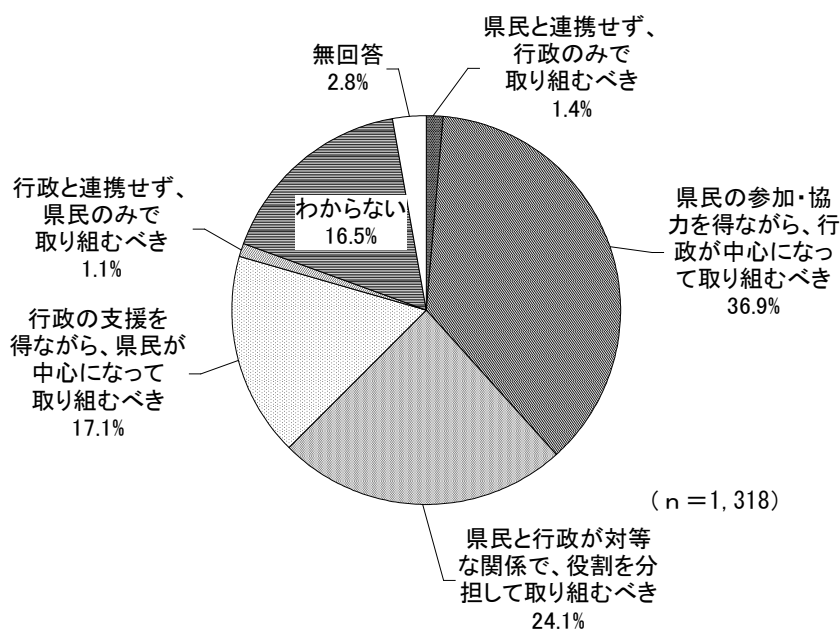
地域別でみると、「活動を体験できるプログラムの提供や入門研修の実施」では〈県南地域〉が27.5%と高くなっている。「活動の拠点となる場所の確保や整備」では〈県北地域〉が30.0%と高くなっている。

(4) 社会貢献活動と行政の協力・連携についての考え方

問22 県は、今後、地域の課題解決のためには、県民（住民やボランティア・NPO、企業等）が行う社会貢献活動と行政（県・市町）が協力・連携して取り組むことが必要になっていくと考えています。この考え方について、あなたは、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

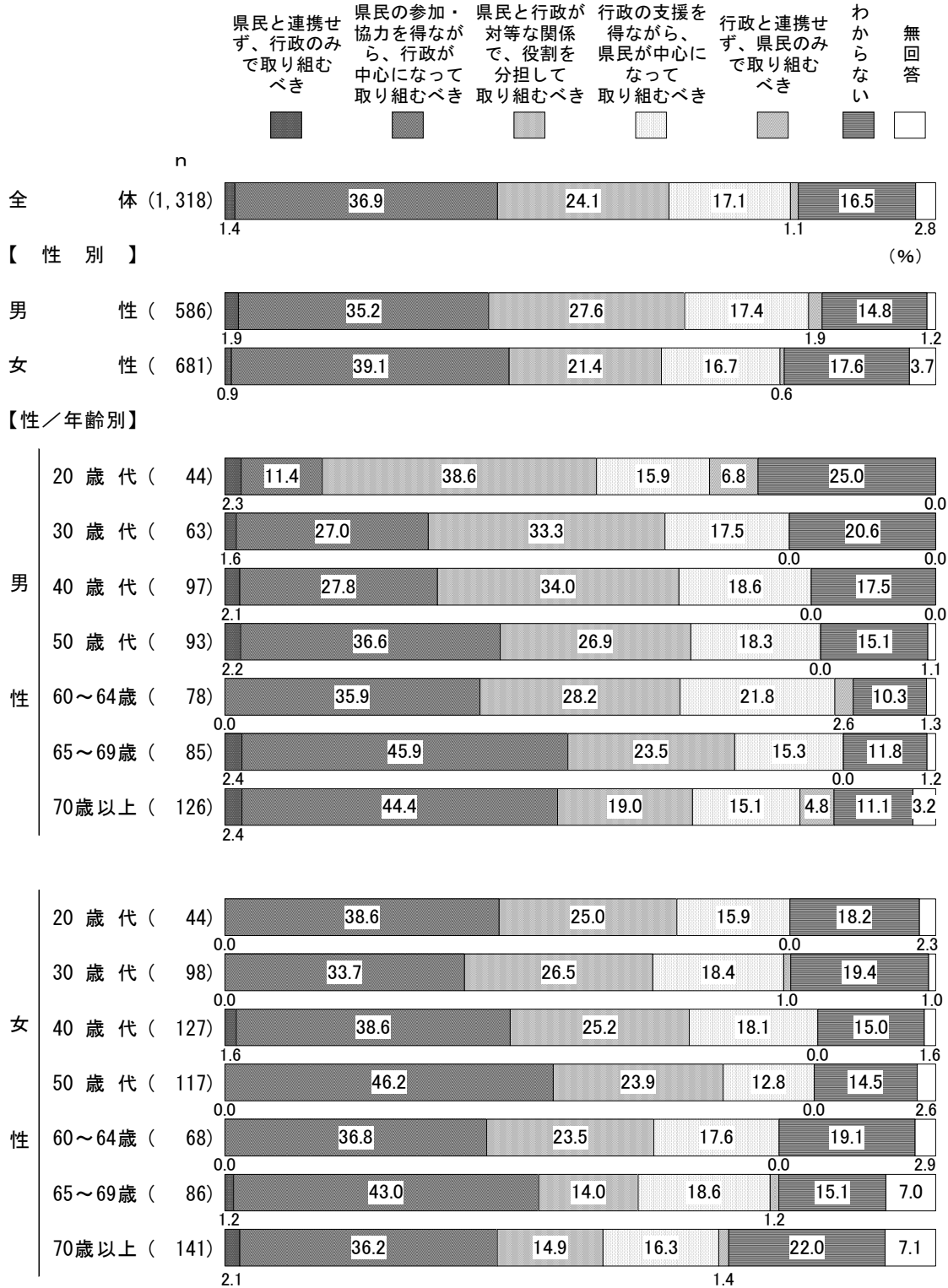
[n=1,318]

1	県民と連携せず、行政のみで取り組むべき	1.4%
2	県民の参加・協力を得ながら、行政が中心になって取り組むべき	36.9
3	県民と行政が対等な関係で、役割を分担して取り組むべき	24.1
4	行政の支援を得ながら、県民が中心になって取り組むべき	17.1
5	行政と連携せず、県民のみで取り組むべき	1.1
6	わからない	16.5
	(無回答)	2.8



全体で見ると、「県民の参加・協力を得ながら、行政が中心になって取り組むべき」（36.9%）が4割近くで最も高く、次いで「県民と行政が対等な関係で、役割を分担して取り組むべき」（24.1%）、「行政の支援を得ながら、県民が中心になって取り組むべき」（17.1%）の順となっている。

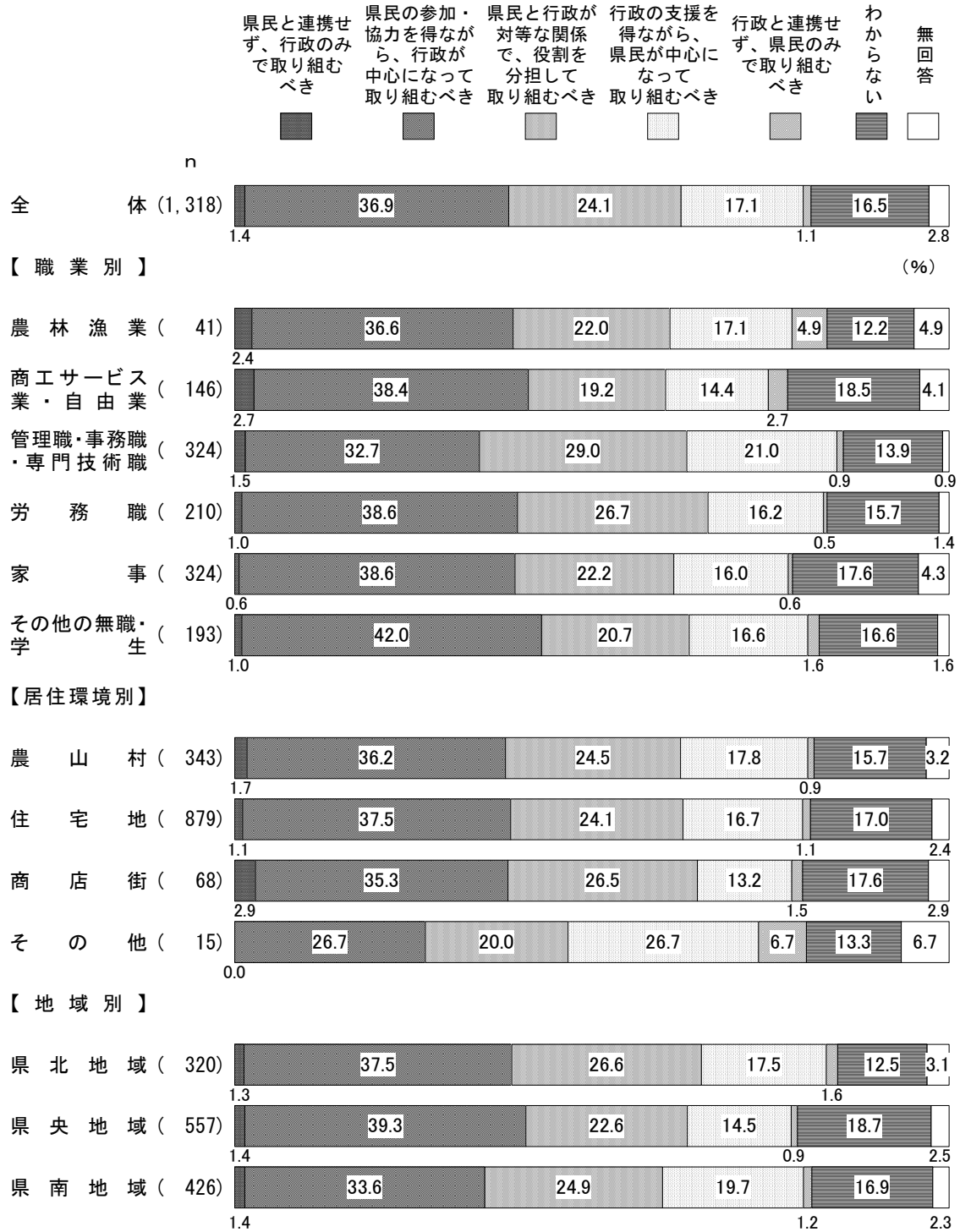
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「県民と行政が対等な関係で、役割を分担して取り組むべき」では〈男性〉(27.6%)が〈女性〉(21.4%)より6.2ポイント高くなっている。「県民の参加・協力を得ながら、行政が中心になって取り組むべき」では〈女性〉(39.1%)が〈男性〉(35.2%)より3.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「県民の参加・協力を得ながら、行政が中心になって取り組むべき」では〈女性50歳代〉が46.2%、〈男性65~69歳〉が45.9%と高くなっている。「県民と行政が対等な関係で、役割を分担して取り組むべき」では〈男性20歳代〉が38.6%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「県民の参加・協力を得ながら、行政が中心になって取り組むべき」では〈その他の無職・学生〉が42.0%と高くなっている。「県民と行政が対等な関係で、役割を分担して取り組むべき」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「県民の参加・協力を得ながら、行政が中心になって取り組むべき」では〈県央地域〉が39.3%と高くなっている。「県民と行政が対等な関係で、役割を分担して取り組むべき」では〈県北地域〉が26.6%と高くなっている。